

会 議 名	港区職員研修等事業業務 第2回 港区職員研修等事業候補者選考委員会
開催日時	平成29年2月9日（木曜日）午後6時10分から午後7時まで
開催場所	港区役所9階 研修室
委 員	委員長 鍵屋 一 副委員長 渡邊 正信 委員 青木 佑一 委員 浅井 真紀子 委員 太田 貴二
事 務 局	人事課人材育成推進担当
会議次第	1 開会 2 参加申込事業者からの提案書に対する評価及び一次審査通過事業者について 3 その他 4 閉会
配付資料	[席上配付] A社 企画提案書 B社 企画提案書 資料1 第1回港区職員研修等事業候補者選考委員会会議録 資料2 港区職員研修等事業候補者選考一次審査採点表(A社) 資料3 港区職員研修等事業候補者選考一次審査採点表(B社) 資料4 港区職員研修等事業候補者選考一次審査採点表(総括表) 資料5 港区職員研修等事業候補者選考結果(一次審査)について 資料6 二次審査留意事項について

会議の内容	
	<p>【1 開会】</p> <p>【2 参加申込事業者からの提案書に対する評価及び一次審査通過事業者について】（資料2～2説明） ～詳細省略～</p> <p>各委員、評価理由等について、コメント</p>
E委員	<p>B社の方が自治体向け研修の実績はあるが、内容的には両社変わらない。管理職研修の提案にスポットを当ててみると、A社の方が具体的な提案があったが、両社とも人材育成方針を落とし込んだ提案ではなく、4つの職員像になるために何をすればいいのかという内容の研修はなかったように感じた。この提案書だけでは、なかなか判断がつけづらい。</p>
A委員	<p>人材育成方針の理解度と研修計画の有益性、確かにこの部分の見せ方はどうかと思った。提案書からでは判断しづらい。</p>
D委員	<p>E委員のおっしゃるとおりだが、あえて言うなら、B社の方が独自性が含まれている提案になっている。A社は、研修プログラムをたくさん持っており安全な会社だが、何か新しいプログラムを実施するかという疑問がある。</p>
C委員	<p>両社とも人材育成方針を具現化する提案ではないと感じた。組織風土を醸成するためには人が変わらなければいけない。人は、研修だけでは変わらない。人が変わるためには時間が必要で、本質的には意識変革が求められている。</p> <p>提案内容は、日本を牽引する気概を持つ職員に育つ研修内容ではないので改善の余地はある。文字だけの提案としないために、もう少し人材育成方針を理解してもらった方がいい。</p>
A委員	<p>港区のポテンシャルを生かしている提案とは思えなかった。</p> <p>既存の研修を「港区」と書き直して出してきたのかと思われるところがあった。</p>
B委員	<p>期待していた提案はなかった。刷直し提案と思われる部分があった。よく言えば手堅いが、区が求める職員像となる職員が育つための提案なのか疑問</p>

	<p>もあった。</p> <p>研修計画の有益性は甲乙つけがたかったが、実施体制の的確性では、両社に違いが見られたので適正に判断した。</p> <p>A委員 皆さんの好評を聞いて、採点を変更する方はいらっしゃいますか。</p> <p>【一部修正】</p> <p>事業者の採点が決定しました。</p> <p>一番大事なことは、プレゼンテーションに何社呼ぶかということですが、今回、応募が2社ということですが、いかがでしょうか。</p> <p>各委員 2社を呼びましょう。</p> <p>A委員 企画提案書の内容に差がないということもありますので、2社にお越しいただきプレゼンをしていただきましょう。</p> <p>(各委員了承)</p> <p>【6 その他】</p> <p>二次審査候補者への連絡方法等 (資料5、6説明) ~詳細省略~</p> <p>次回の日程</p> <p>【5 閉会】</p>
--	---